

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度液状化リスクマップ作成業務
業 務 概 要	計画準備 1 式、資料の収集整理 1 式、微地形分類図の作成 1 式、地域の液状化発生傾向図の作成 1 式、宅地の液状化危険度マップの作成 1 式、液状化リスクマップの作成 1 式、有識者への意見聴取 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東 2－1 0－7
契 約 年 月 日	令和 7 年 4 月 2 4 日
契 約 業 者 名	八千代エンジニアリング（株）
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区舞鶴 3－9－3 9
契 約 金 額	3 3, 0 0 0, 0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	3 3, 0 0 0, 0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	
業 務 場 所	九州地方整備局管内
業 種 区 分	地質調査業務
履 行 期 間（自）	令和 7 年 4 月 2 5 日
履 行 期 間（至）	令和 7 年 1 2 月 2 6 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度液状化リスクマップ作成業務
2. 履行場所 九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 八千代エンジニアリング（株）
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、液状化に対するリスクコミュニケーションを円滑・効果的に進めるためのツールとなる「液状化リスクマップ」の作成をするものである。

2) 業務の内容

- | | |
|------------------|----|
| ・計画準備 | 1式 |
| ・資料の収集整理 | 1式 |
| ・微地形分類図の作成 | 1式 |
| ・地域の液状化発生傾向図の作成 | 1式 |
| ・宅地の液状化危険度マップの作成 | 1式 |
| ・液状化リスクマップの作成 | 1式 |
| ・有識者への意見聴取 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手（ダウンロード）し、6者から参加表明書が提出され、6者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち5者を技術提案書の提出者として選定し、5者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ『『地域の液状化発生傾向図』と『宅地の液状化危険度マップ』』を作成するうえで、既存データ等を効率よく収集するための手法についてに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案が記載されていること、及び評価テーマの「的確性」に対する技術提案について、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されているとともに、提案を裏付ける内容が十分に示され、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

企画部 技術管理課長